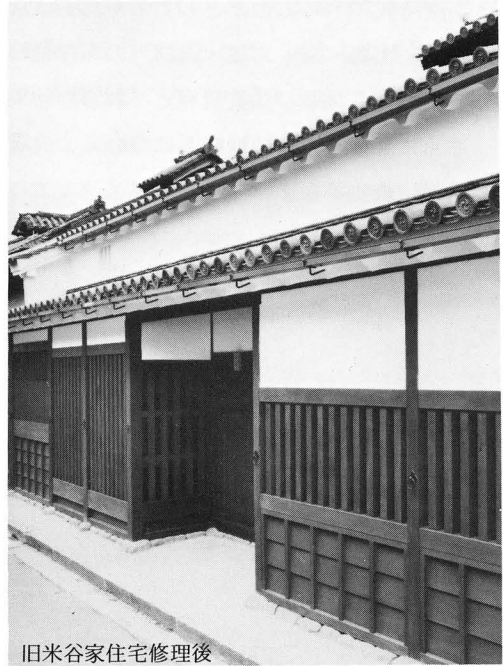


事業

建造物研究室

社寺建築・庭園・民家及び伝統的建造物群に関する調査研究とその結果の公表を行う。

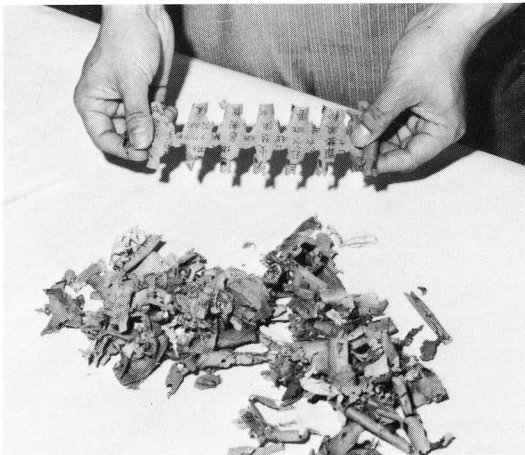


旧米谷家住宅修理後

建造物の調査

歴史研究室

考古、史跡及び社寺等に伝存する古文書、典籍等歴史資料に関する調査研究とその結果の公表を行う。



古文書等の調査

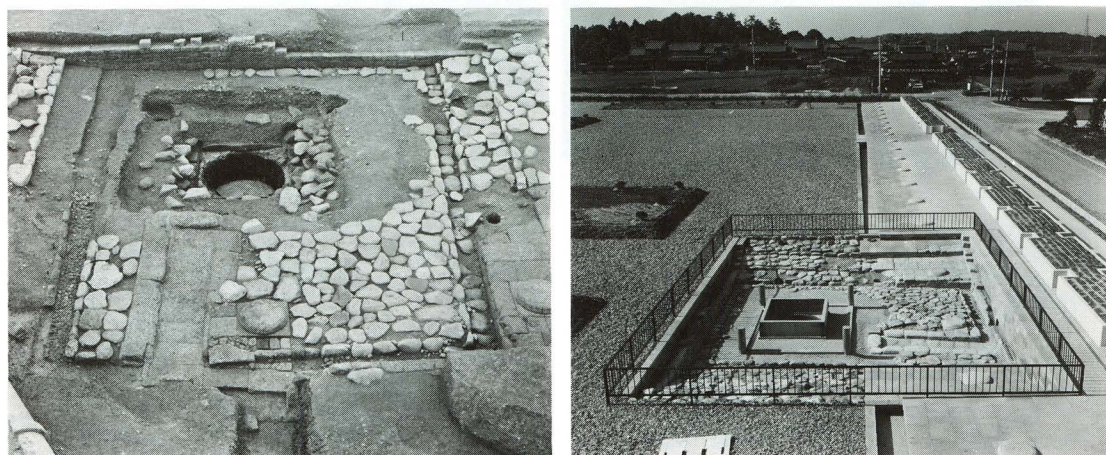
平城宮跡発掘調査部

奈良時代70余年の帝都として栄えた平城宮跡等の発掘、調査研究を行うとともに出土した木器・金属・土器・瓦・木簡・遺構等の保存整理・遺構の計測・修景及びこれらに関する調査研究並びに史料の収集及び調査研究とこれらの結果の公表を行う。

さらに発掘調査済の地域等について、遺構そのものが理解しやすいように修景整備し、あるいは遺構、遺物等を展示して一般に公開している。



平城宮跡全景



発掘された奈良時代の石敷井戸とその復元展示

飛鳥藤原宮跡発掘調査部

日本で初めて律令国家体制が形成され飛鳥文化が開化した時代の中心的地域である藤原宮跡及び飛鳥地域における宮跡その他の遺跡の発掘、調査研究を行うとともに、出土した木器・金属・土器・瓦・木簡・遺構等の保存整理・遺構の計測・修景及びこれらに関する調査研究並びに史料の収集及び調査研究とこれらの結果の公表を行う。



藤原宮跡大極殿周辺



山田寺東回廊建物（北から）

飛鳥資料館

飛鳥地域に関する考古資料、歴史資料、建造物、絵画、彫刻その他の資料を収集保管し、調査研究するとともに、飛鳥地域の歴史的意義及び文化財に関し、一般の理解を深めるためこれらを展示して公衆の観覧に供している。



飛鳥資料館全景



石人像（重要文化財）
飛鳥時代の庭園に使われた噴水



高松塚から出土した飾金具と鏡（重要文化財）

入館者数

(単位 人)

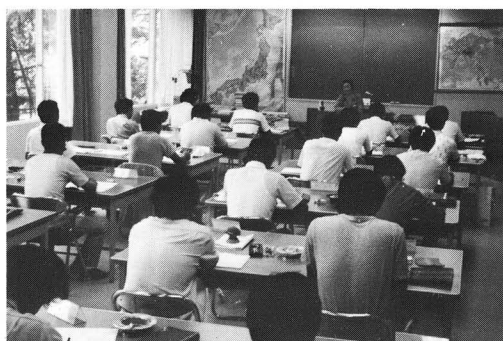
区分		年度	昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度
有料観覧	普通観覧	一般	46,244	49,503	51,818
		高・大学生	15,483	14,697	15,050
		小・中学生	16,180	16,805	17,428
	団体観覧	一般	29,863	24,506	27,728
		高・大学生	30,111	27,569	36,962
		小・中学生	66,463	67,915	78,070
計			204,344	200,995	227,056
無料観覧			10,595	10,072	9,929
合計			214,939	211,067	236,985

埋蔵文化財センター

埋蔵文化財に関する調査研究及び関連技術の開発ならびにその結果の公表を行うとともに、埋蔵文化財の調査、保存整理に関し、地方公共団体等の求めに応じ、専門的、技術的な指導・助言を、また埋蔵文化財に関する情報資料の作成、収集、整理、保管並びに調査研究を行い、これらについても広く地方公共団体等の利用に供している。

さらに、埋蔵文化財の調査、保存整理に関し、地方公共団体の職員等に対し技術的な研修を行っており、研修の主な課程は次のとおりであり、昭和60年度までの受講者累計は2,155名である。

区 分	課 程	区 分	課 程
一 般 研 修	一般課程	専 門 研 修	環境考古課程
専 門 研 修	写真測量課程	〃	埋蔵文化財情報課程
〃	縄文時代遺跡調査課程	特 別 研 修	石造物調査課程
〃	遺跡保存整備課程	〃	土層転写課程
〃	鉄器保存課程	〃	埋蔵文化財基礎課程
〃	予備調査課程		



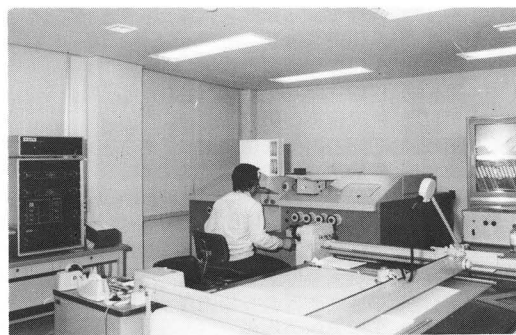
研 修 風 景



情報処理機器 埋蔵文化財関係資料の
情報処理を行う。



P.E.G含浸装置 ポリエチレングリコールを
使用し、木材、木器等を永
久保存するための処理装置



写真測量図化機 ステレオメトログラフE型を
使用して実測図を作成する。